

緊急情報：エボラウイルス病（エボラ出血熱）

滋賀大学保健管理センター 所長・教授 山本祐二

【背景】

エボラウイルス病（エボラ出血熱）はエボラウイルス（図1）による感染症で、2014年3月以降、西アフリカのギニア、シエラレオネ及びリベリアを中心に流行しています。これまでに1万人以上が感染し、およそ50%の患者が死亡しています。

【感染経路】

患者の血液、分泌物、吐物・排泄物など体液やそれらに汚染された物質に触れた際に、ウイルスが傷口や粘膜から侵入することで感染します。また、流行地ではエボラウイルスに感染した野生動物（チンパンジー、ゴリラ、オオコウモリ、サル、レイヨウ、ヤマアラシなど）の死体や生肉に、直接触れた人が感染することにより人間社会に持ち込まれたと考えられています。症状の無い患者からは感染しませんし、空気感染もしません。

【症状・診断・治療】

2～10日の潜伏期の後、突然の発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、咽頭痛などの症状を呈します。次いで下痢・嘔吐、発疹、吐下血などの出血症状が出現します。

症状からエボラウイルス病とマラリア、腸チフス、髄膜炎などの感染症とを鑑別することは困難で、患者から採取した検体を検査することで行います。

治療は輸液などの対症療法によります。現在承認されたワクチンはありませんが、2種の有望なワクチン候補が臨床評価中です。

【予防】

感染源に触れないようにすることです。そのためには、

1. 流行地域へ立ち入らない。
2. 症状のある患者やその死体と接触しない。
3. 野生動物やその死体・生肉に触らない、消費しない。

以上のことに加え、手洗いなどの基本的な衛生対策を心がけてください。

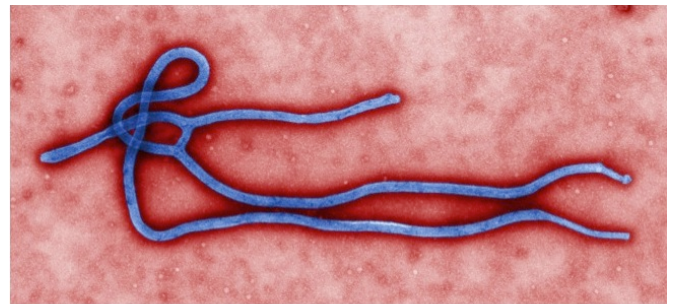


図1. エボラウイルス(CDC/Cynthia Goldsmith - Public Health Library, #10816)

詳しくは以下のリンク等で常に最新の情報を参照してください。

【参考】

- ・ 厚生労働省. エボラ出血熱に関する Q&A
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ebola_qa.html
- ・ 厚生労働省検疫所. 西アフリカでエボラ出血熱が流行しています
<http://www.forth.go.jp/news/2014/09021454.html>
- ・ WHO. Global Alert and Response (GAR)内の Ebola のページ
<http://www.who.int/csr/disease/ebola/en>